

NBC災害等緊急消防援助隊充実強化対策【総務省】

施策概要

緊急消防援助隊のNBC災害対応で使用する資機材の老朽化等を踏まえ、適切な整備を実施

効果

NBC災害時におけるより確実な物質検知やその検知結果にもとづく確実、迅速な活動等、緊急消防援助隊の災害対応能力が向上



総務省消防庁



全国各地の緊急消防援助隊

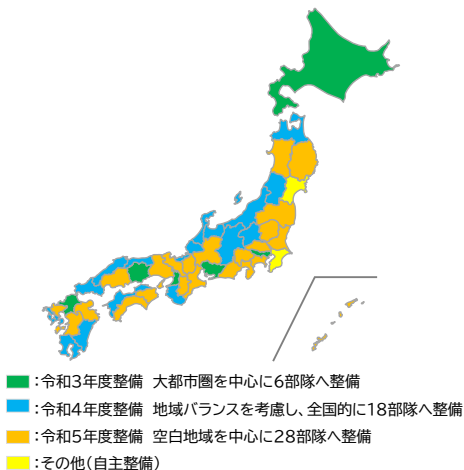


緊急消防援助隊のNBC災害対応資機材の整備

全国的な対策と効果

対策1 NBC災害時に使用する資機材を整備(全ての部隊(全国54部隊)で整備が完了)

全国におけるNBC災害対応資機材の整備状況



(複数年度で整備した場合、整備年度の早い方で表記)

NBC災害対応資機材例



➢ 現場での迅速な分析により、原因物質に応じた確実な対処が可能

対策2 配備資機材を用いた訓練を実施

原因物質の検知結果に応じた的確な除染活動等



化学剤検知器を活用

●NBC災害とは？

NBCとは、核等、生物剤及び化学物質のこと。NBCを取り扱う施設・車両等における漏洩事故や火災等をNBC災害という。地震等の自然災害の発生に伴い、複合的に発生する場合がある。

Nuclear(核燃料物質・放射性物質)

原子力施設や病院、研究所など多くの施設で、様々な用途で取り扱われている。

Biological(生物剤)

薬品の開発や病気を研究している大学や研究室で、病原菌やウイルスが取り扱われている。

Chemical(化学物質)

化学工場など多くの事業所で、化学物質が取り扱われており、日常的に、多数の車両等で輸送されている。

資機材を用いたNBC災害の対応イメージ

(大型除染システム)



一度に多くの要救助者を除染可能

(全面マスク)

(個人警報線量計)



除染シャワーの使用により、傷病者の全身の除染が可能

(放射線量率計等)



目に見えない放射線を検知して、安全かつ確実な対処が可能

事業の背景

自然災害の激甚化等に伴い、土砂・風水害、震災等によるNBC災害等の特殊災害の発生リスクについても上昇しています。また、NBC災害等の特殊災害に対応する緊急消防援助隊の資機材が老朽化しているため、資機材の更新等により対応体制の充実強化を図る必要がありました。

東日本大震災(2011年)の際に、毒劇物等による災害が発生した事例

宮城県	PCB含有廃トランスが保管されていた倉庫が津波に流されて、敷地から数百メートルの地点で発見され、周辺土壌に油漏れが確認された。
福島県	地震動により、機械に入れられていた薬液(アルカリ脱脂液、合成塩類、メッキ液、六価クロムメッキ液)の漏えい事故が発生した。
埼玉県	地震動により、作業場内の危険物収容器(タンク)から、シアン化ナトリウム、塩酸、無水クモル酸の希釈混合物が溢れだし、一部が敷地外の排水溝などに流れ出る漏えい事故が発生した。
栃木県	地震動によりこぼれ出したドラフトチャンバー内の濃硫酸とアルコールが混合し、発熱・発火することで、火災が発生した。

事業の内容

NBC災害対応資機材を整備し、緊急消防援助隊の充実強化を図っています。

(R5年度完了)
 ・化学剤同定装置(液体・固体用)48器
 ・大型除染システム 37式 等

(R7年度完了)
 ・全面マスク 8,724個
 ・個人警報線量計 740個
 ・γ線・X線用線量率計 148個 等

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
8億円	17億円	17億円
R6	R7	累計
1億円	0.9億円	44億円

■ 目標達成の見通し



(1) 1 人命・財産の被害最小化 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化